

奈良市のリユースびん導入について



奈良市環境部環境政策課
新井 哲彰

奈良市の概要

- ・人口：364,836人
(平成25年4月1日現在)
- ・面積：276.84km²
- ・市の特徴

国際文化観光都市として世界遺産である「古都奈良の文化財」をはじめとした数多くの観光資源を持ち、平成14年4月1日から中核市に指定された。



(写真：若草山焼き 平成26年1月25日予定)

・導入のきっかけ

▶平成22年5月19日

奈良県地球温暖化防止活動センター・奈良ストップ温暖化の会 16名で京都の吉川商店を見学

▶平成24年3月21日

奈良市地球温暖化対策地域協議会3Rプロジェクトでワールドシードの中島氏がリユースびんのプレゼン

▶平成24年9月22日

奈良県情報図書館にて「と、わToWA」のデザインコンペ

奈良市長・商工労政課長・農林課長・環境政策課長が参加



・導入への動き

▶平成24年11月22日

リユースびん庁内導入検討会議

ワールドシードの中島氏によるプレゼン

管財課・農林課・商工労政課・人事課(互助会担当)・

互助会売店・環境政策課が参加

▶平成25年1月15日

互助会売店での販売を報道機関へ投げ込み

(生駒市と同時に)

「購入者に10円返還 奈良市

10円を環境政策に 生駒市」 奈良新聞1 / 16

同時に職員ポータルに掲示

▶平成25年1月24日～25日

市役所地下食堂前にて「と、わToWA」を展示



・導入後の動き

▶平成25年2月5日

奈良市議会観光文教水道委員会

「大和茶の新しい商品」と市会議員が「と、わToWA」
をアピール

▶平成25年2月21日

奈良市環境審議会で使用

▶平成25年6月2日

環境フェスティバル

手をつなぐ親の会が飲食の出店時に使用

▶平成25年6月25日

奈良市清掃業務審議会で使用

・奈良市の環境(子ども版)で「と、わToWA」を紹介

ならし かんせう ばん
奈良市の環境(子ども版)
 [平成24年版]

奈良市のシンボル

- 鳥 ウグイス
- 木 イチイガシ
- 花 ナラノヤエザクラ



写真提供：松澤 巨樹




写真提供：奈良県

ごみの問題について

家庭から出たごみのうち、「燃やせるごみ」は焼却され、「燃やせないごみ」はうめ立てられ、ペットボトルなどの「資源ごみ」はリサイクルされます。しかし、ごみをうめ立てる場所はだんだん減っており、このままのペースでいくとうめ立てる場所がなくなってしまいます。

また、ごみを燃やす場合も二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因になります。したがって、ごみの量を減らすことが求められています。

ごみを減らすためにわたしたちができること

わたしたちがごみをごみにしない生活をするためには、ごみを減らす「リデュース (Reduce)」、くり返し使う「リユース (Reuse)」、資源として再生利用する「リサイクル (Recycle)」という3つの行動が大切です。3つの頭文字が「R」なので、3R (スリーアール) と呼ばれます。

3Rの中では「リデュース」が一番重要であり、「不必要なものは買わない」、「残さずごはんを食べる」ことなどによってごみを減らすことができます。

リユースの推進の一環として、市役所の売店でリユース瓶入り大和茶「と、わ (ToWA)」を販売しています。



奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

お茶の消費

ごみとわたしたち

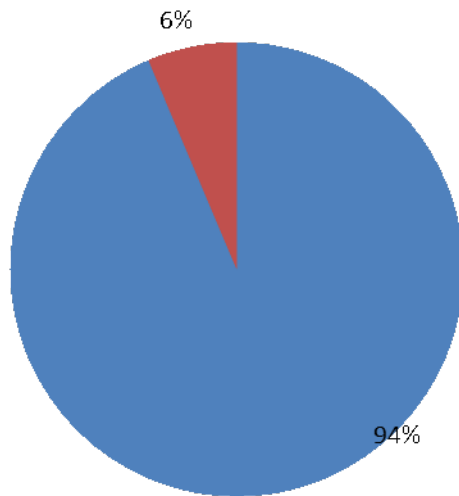
・奈良市における学校給食用牛乳びんの使用

給食導入の小学校・中学校数

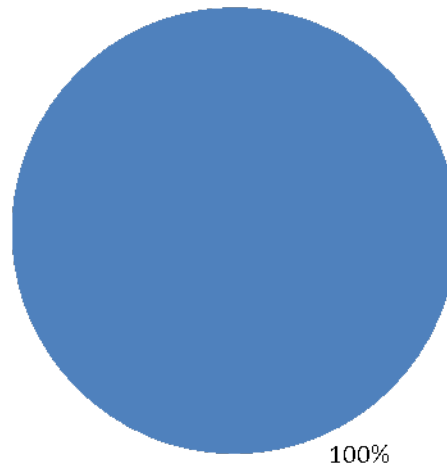
小学校 47校中47校(3校がビン)

中学校 22校中8校

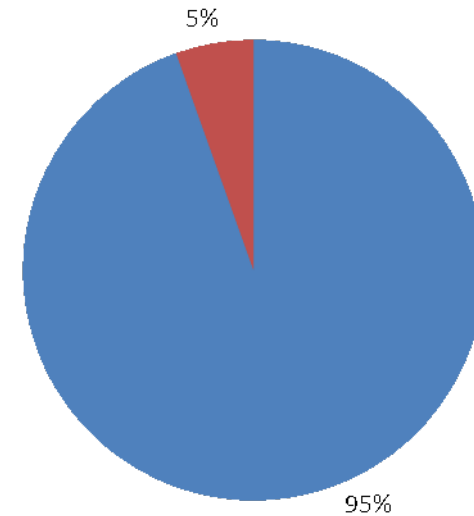
小学校(47校)



中学校(8校)

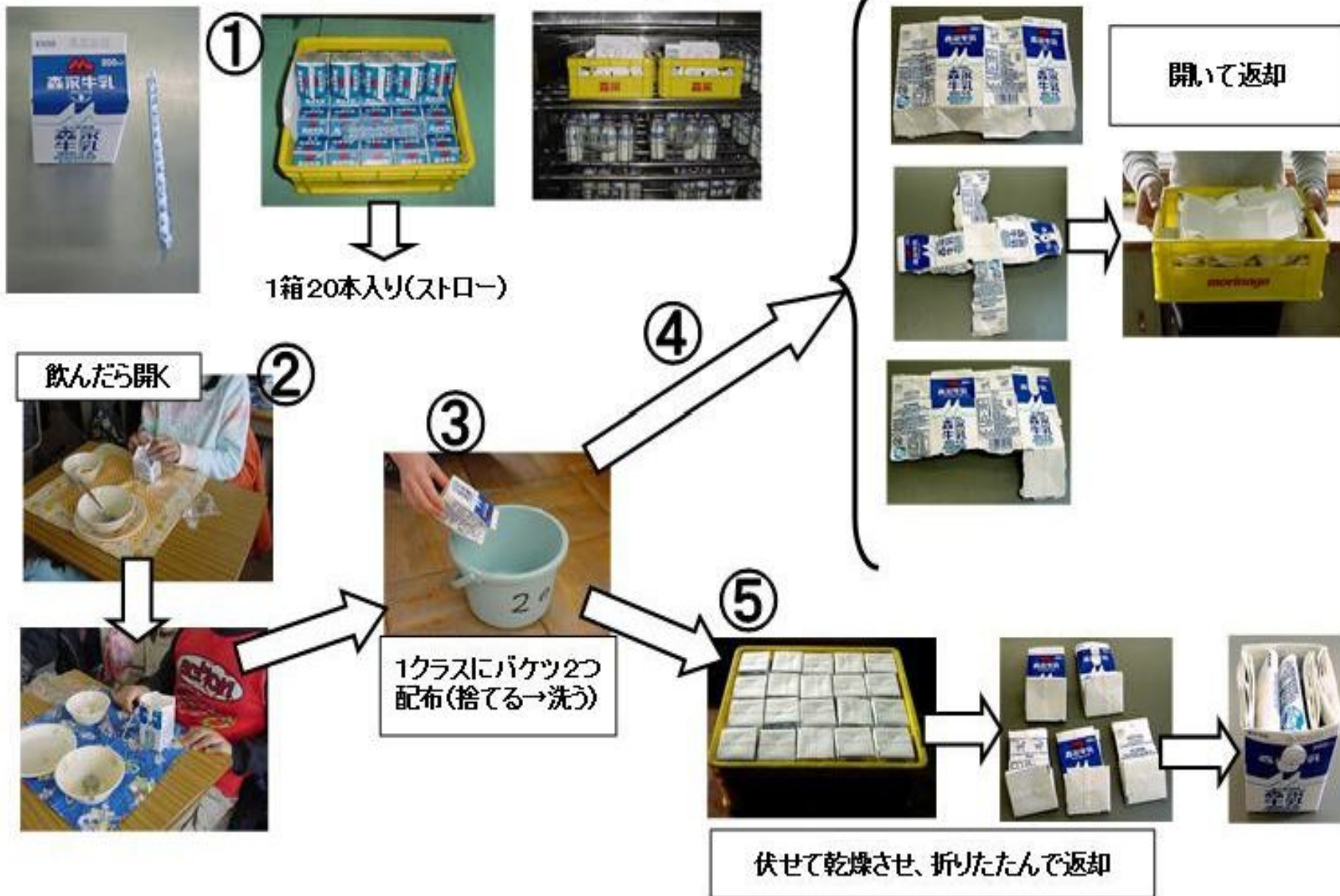


全体(55校)



■ 紙パック
■ ビン

紙パックの牛乳の返し方（例）



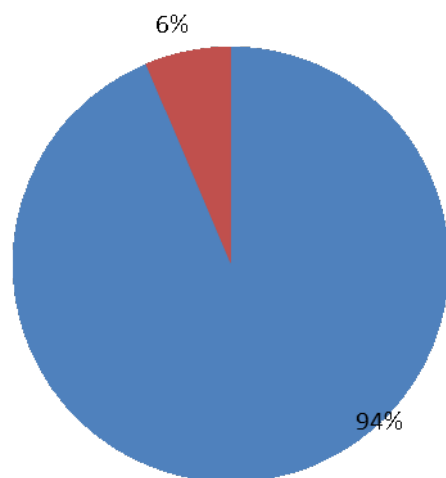
・平成26年4月からの動き

給食導入の小学校・中学校数

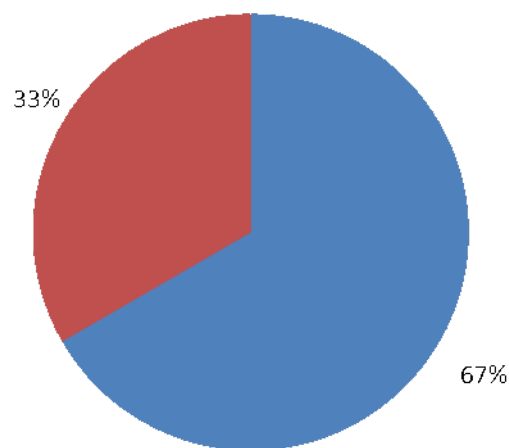
小学校 47校中47校(3校がビン)

中学校 22校中12校(新規4校がビン)

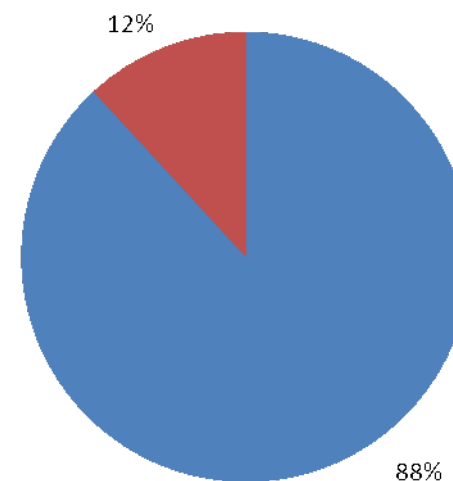
小学校(47校)



中学校(12校)



全体(59校)



■ 紙パック
■ ビン

・奈良市の望ましい環境像

「もったいない」の心を大切に、ごみゼロを目指した循環型都市の実現

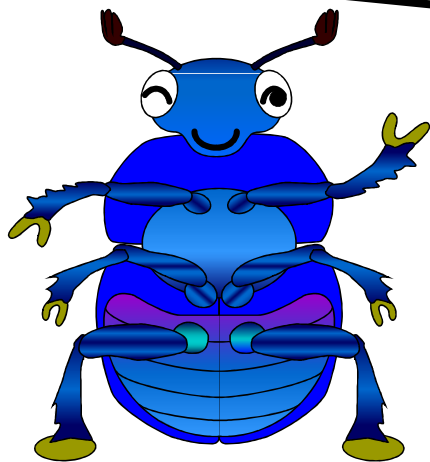
廃棄物の1.発生抑制(リデュース)2.再使用(リユース)3.再利用(リサイクル)の優先順位を徹底した循環型のまち

より良い環境を次世代へつなぐため、「もったいない」の心を大切に、限りある資源を大切に作る持続可能なまち

・具体的には

2Rを重視したライフスタイル

リユース食器と併せて会議・イベントで導入
市民、事業者、行政の協働での取り組み
対等な立場で協議・活動を行っていく



奈良市の環境キャラクター

「ルリくん」です！

奈良公園には、シカの糞をコツコツ処理して土に戻して
くれているルリセンチコガネ(オオセンチコガネ(ルリ型))と
呼ばれるきれいなコガネムシがいます。

そこで、奈良市の環境をイメージし、循環型社会を象
徴するキャラクターとして、ルリセンチコガネの「ルリ
くん」が誕生しました。

ご清聴、ありがとうございました